



岩木山の眺望を活かし、ゆとりと潤いのある地域づくりをめざしている



降雪地帯を考慮して流雪溝を設置



車の速度を抑制するための道路構造を取り入れ、沿道には花壇を設置

DATA・BOARD ③

- ①青森県中津軽郡相馬村大字湯口字ニノ安田
- ②総面積：61,833㎡、公園面積：2,187㎡、車道部延長：1,334m、歩道部延長：720m
- ③JR奥羽本線弘前駅からバスで村営住宅前下車、東北自動車道大鰐弘前ICから車で約25分
- ④星と森のロマンティックピアそうま(複合観光施設)、御所温泉、フルーツセンター
- ⑤夏まつり、文化祭



3 プレアデス(昂)のまちづくり



相馬村では、過疎対策や人口の流出に歯止めをかけるため、街並み・まちづくり総合支援事業を導入して、地域住民参加型のまちづくりを進めている。

そのため、地域資源の有効活用を図るとともに個性化を創出しながら、毎日の暮らしが輝く地域生活文化の創造をコンセプトに、魅力的な居住環境整備として「プレアデス(昂)のまちづくり」事業を進めてきた。

整備にあたっては、多世代が共に暮らせるように、敷地を広めの区画で分譲している。

地区内の道路は、通過交通を抑制するための道路線形としたほか、道路側の宅地に公開空地を設け、夏は花壇、冬は堆雪所として利用する。また、車道の無電柱化を図り、電柱は宅地の背後にある歩道に建柱し、外灯とケーブルテレビの電線類は地中化して景観に配慮した。さらに、降雪地帯であるため、雪対策にも配慮しており、地下水を利用した融雪溝を設けている。

津軽地方の代表的な風景である岩木山の眺望を活かした住宅地とするため、建築協定も導入され、建物の色彩は自然素材を基調に全体の調和が図られるように配慮されており、敷地の境界を生垣で植栽処理するなどの配慮もなされている。